

作成日 2016年03月17日

改訂日 -

安全データシート (SDS)**1. 化学品及び会社情報**

製品名: セピア B-100

会社名: オルガノ株式会社

住所: 東京都江東区新砂 1-2-8

担当部門: 機能商品事業部

電話番号: 03-5635-5214

FAX 番号: 03-3699-7244

推奨用途及び使用上の制限: 活性汚泥沈降促進剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	-
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	-
	エアゾール	-
	支燃性又は酸化性ガス	-
	高压ガス	-
	引火性液体	-
	可燃性固体	-
	自己反応性化学品	-
	自然発火性液体	-
	自然発火性固体	-
	自己発熱性化学品	-
	水反応可燃性化学品	-
	酸化性液体	-
	酸化性固体	-
	有機過氧化物	-
	金属腐食性化学品	-
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	-
	急性毒性(経皮)	-
	急性毒性(吸入:ガス)	-
	急性毒性(吸入:蒸気)	-
	急性毒性(吸入:粉じん)	-
	急性毒性(吸入:ミスト)	-
	皮膚腐食性及び刺激性	-
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	-
	呼吸器感作性	-
	皮膚感作性	-
	生殖細胞変異原性	-
	発がん性	-
	生殖毒性	-
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	-
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	-
	吸引性呼吸器有害性	-
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分 1

水生環境有害性（長期間） 区分1
 オゾン層への有害性 -

*上記の「-」は分類対象外又は分類できないことを示す。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



- 注意喚起語： 警告
- 危険有害性情報： ・長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
- 注意書き： 【安全対策】 ・使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
 ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じたり、催涙症状を呈する場合がありますので、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等を着用すること。
 ・環境への放出を避けること。
- 【応急措置】 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には十分洗濯をすること。
- 【その他】 ・目的用途以外に使用しないでください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 単一製品
 化学名又は一般名 等 : カチオン性4級ポリアミン
 化学式又は構造式 : 非公開

成分名(別名)	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
カチオン性4級ポリアミン	50%以上	既存	既存	非公開
水	50%以下	非該当	非該当	7732-18-5

危険有害成分 : 対象物質を含有しない

*含有するその他の成分はGHS分類に該当しない物質である。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水と石鹸で付着した製品を完全に洗い流すこと。気分が悪い時は、医師の診断を受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間洗浄した後、医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断を受けること。水で口内だけをすすぎ、無理に水を飲ませて吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 大量の水、炭酸ガス、泡、粉末等
- 使ってはならない : 情報なし。
- 消火剤
- 火災時の特有の危険有害性 : 直ちに火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。加熱により容器が爆発するおそれがある。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業者は適切な保護具（手袋、眼鏡など）を着用し、眼・皮膚への接触を避ける。
- 保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防いで、河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の
方法・機材 : ・少量の製品原液の場合は、水を使うと粘って作業し難くなるため、水を使わずに布・紙で直接拭き取るか、おがくず・砂等をまぶしてから空容器に回収する。
・少量の溶解液の場合は多量の水で洗い流す。
・大量の場合は関係者以外の立入りを禁止して、盛土で囲って流出を防止し、乾燥した土、砂や不活性な不燃材料に吸収させ、あるいは防水シートで覆った後、密閉可能な空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように安全眼鏡、ゴム手袋等の保護具を使用する。
- 安全取扱い注意事項 : 取扱い後は手洗い、洗顔、うがい等を十分に行う。
- 保管
- 技術的対策 : 使用後は容器の口を開放したままにせず、通気の良い屋内で密封保管する。長時間放置しておく、液が分離することがあるので、その際は十分に攪拌してから使用する。
- 適切な保管条件 : 温度は5 以上、35 以下が望ましい。施錠して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 保管容器はFRP、PVC、PE が好ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 通気が良くない屋内作業場所の場合は、全体換気装置を設ける。
- 管理濃度 : 設定なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定なし
ACGIH : 設定なし
- 保護具 : 呼吸器用の保護具 : 情報なし
手の保護具 : ゴム手袋。
目の保護具 : ゴーグル式安全眼鏡。
皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣および長靴。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 黄色透明粘調液体
- 臭い : わずかにアミン臭
- pH : 4~5
- 融点/凝固点 : ほぼ水と同様（沸点）
- 引火点 : なし
- 自然発火温度 : 情報なし
- 燃焼又は爆発範囲 : 情報なし
- 密度 : 1.1~1.2
- 溶解性 : 情報なし
- オクタノール
/水分分配係数 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常取扱い条件では安定。
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: LD ₅₀ > 2000mg/Kg (経口、雌ラット) (参考値)
変異原性	: 陰性 (Ames 試験: 細菌を用いる復帰突然変異。参考値)
皮膚刺激性	: 経験的に長時間、製品を皮膚に付着させるとカユミを感じたり、赤斑を生じる場合がある。
眼刺激性	: 経験的に長時間、製品が目に着した状態にさせると、場合により角膜の損傷や、カユミを感じたり赤斑を生じることがある。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分1: 水生生物に毒性
水生環境慢性有害性	区分1: 長期的影響により水生生物に毒性 分解性及び生態蓄積性に関する信頼できるデータがなく、慢性毒性を除外することができないと判断した。
生態毒性	: LC ₅₀ = 0.34mg/L (96hr、ヒメダカ) (参考値)
残留性/分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 下記参照
国連分類	: 9 (その他有害物質)
国連番号	: 3082 (環境有害物質 (液体))
包装等級	
国内規制	: 下記参照
輸送の特定の 安全対策及び条件	: 容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、漏洩及び荷崩れ防止を確実に行う。輸送時に雨に濡れないようにする。
緊急時応急措置 指針番号	: 171

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒劇物取締法	: 非該当
化管法 (PRTR 法)	: 第1種指定化学物質: 非該当 第2種指定化学物質: 非該当
労働安全衛生法	: 表示物質: 非該当 通知物質: 非該当 有機溶剤中毒予防規則: 非該当 特化則: 非該当
船舶安全法 (危規則)	: その他有害物質 / 環境有害物質 (液体)
海洋汚染防止法	: 海洋汚染物質

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。